

1 はじめに

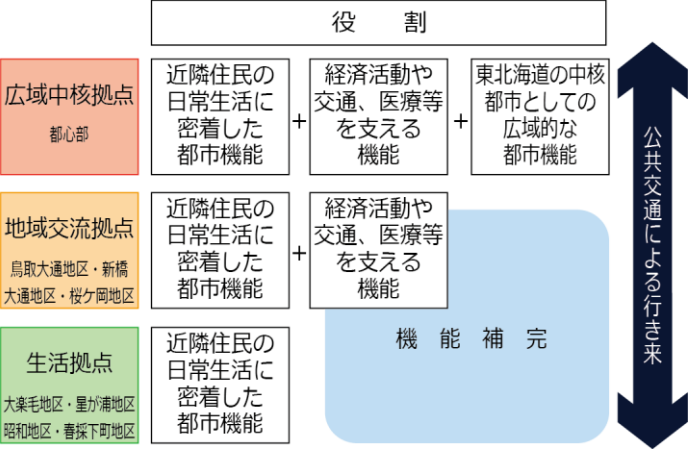
1. 本計画の目的

- ・本計画は、持続可能な公共交通網の形成を目的に、釧路市にとって望ましい公共交通網の姿を示すマスタープランとして、市民の皆様や交通事業者等との連携により策定します。計画の実現に向けては、釧路市地域公共交通再編実施計画を策定します。

2. 計画の区域及び期間

- ・釧路市全域を対象区域として設定します。
- ・計画期間は釧路市立地適正化計画の計画期間を勘案し、平成29年度～平成38年度の10年間とします。

▼立地適正化計画における各拠点の役割イメージ

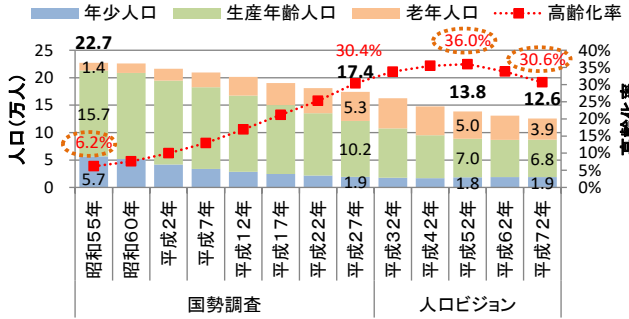


2 上位・関連計画との位置づけ

- ・本計画の策定に当たっては、上位計画である釧路市まちづくり基本構想や、関連計画である釧路都市圏の都市交通マスタープランの骨格公共交通網の考え方を基本とし、釧路市立地適正化計画と一体的に展開を図ります。

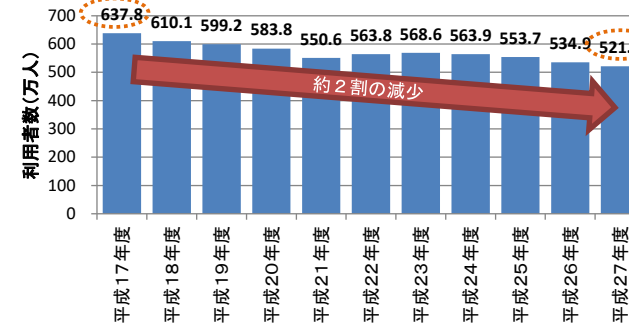
3 公共交通を取り巻く現状と課題

▼年齢階層別人口及び高齢化の推移



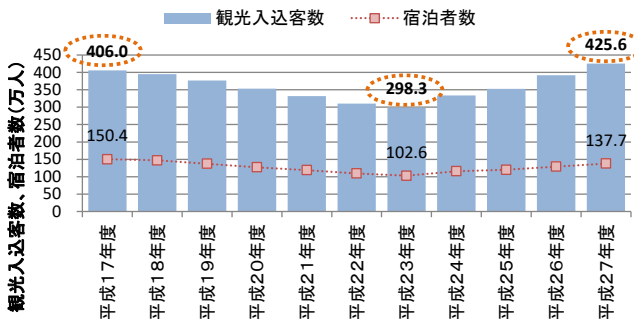
⇒人口減少と高齢化は今後も続く見込み

▼バス交通の利用者推移



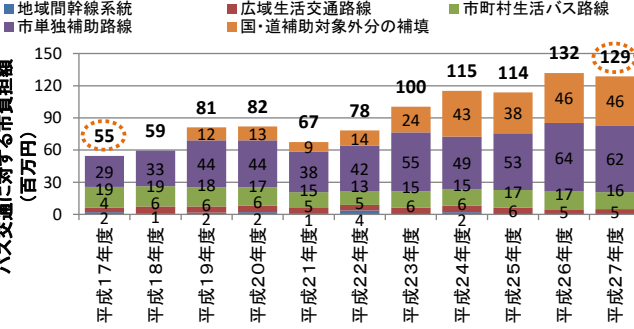
⇒人口減少等に伴う利用者の減少

▼観光入込客数の推移



⇒観光入込客数は増加傾向

▼バス交通への市負担額推移



⇒バス交通への市負担額は増加傾向

3. 公共交通の課題整理

①人口、都市機能の集積・誘導を促進する交通ネットワークの充実

- ・釧路市の人口は減少傾向にあり、釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンでは将来人口も減少することが推計されています。
- ・市街地の医療施設及び商業施設は徒歩圏内に立地しており、都市機能の拡大が見られます。
- ・商業機能の低下や人口減少等による空洞化、低未利用地の増加など、都心部の魅力は低下しています。

②路線バス結節機能の強化

- ・市内バス路線は釧路駅前に向かって重複しており、駅前バス通りでは運行便数が充実しているものの、郊外部では運行便数が希薄な所が見られます。
- ・買い物でよく利用する場所は大型商業施設がある「西部南地域」及び「西部北地域」、通院でよく利用する場所は、総合病院がある「中部南地域」「中部北地域」「東部南地域」となっていますが、施設別に整理すると「西部北地域」や「西部南地域」のバス運行便数が比較的少ない状況です。
- ・市内バス路線の多くは住宅街を多く運行しているため、バス路線が煩雑であり、またバス路線の長大化に伴い運行時間が不正確な状況が見られます。

③利用実態に即した公共交通網の構築

- ・イオン昭和店など郊外部に位置する施設のバス路線の利用者数が多くなっており、運行路線・便数とニーズの不一致が見られます。
- ・都心部までのバス利用による来訪回数は、「めったに行かない」が約8割となっていますが、「日常的に利用できる商業施設」などが整備された場合、都心部への来訪回数は増加する傾向となっています。

④鉄道とバス交通の連携による生活交通の充実

- ・釧路管内における通学時の交通手段として、鉄道を利用した移動があるとともに、J Rとバス交通の相互を活用した買い物や通院などの生活交通としての利用も見られます。

▼市内バス路線網



⑤市民にとって利用しやすいバス待合環境の改善

- ・バス路線に対する不満として、「バス停の環境」への不満度が高い状況です。
- ・バス待合環境のあり方として、「バス停に屋根やベンチを設置」、「商業施設、病院、コンビニでバスを待てる」環境が望まれています。
- ・都心部に「日常的に利用できる商業施設」や「市民が交流できる場」が求められています。
- ・乗換拠点等における市民が交流できる場の創出にニーズがあります。

⑥バス利用機会増加に寄与する現行バスサービス内容の見直しや情報提供機能の強化

- ・「バスの終発時間」に対する不満が高く、通勤・通学時の交通手段にも影響を及ぼしています。
- ・市内を運行するバス路線が煩雑であることに加え、運賃体系がわかりづらいなどの意見があります。
- ・バス待合環境の改善や不満項目の改善、ICカード・バスロケーションシステムの導入等のバス利用環境向上に向けた各種施策実施は、バス利用機会の増加に寄与することが想定されます。
- ・鉄道及びバス相互の乗継による釧路駅前バスターミナル利用者の利用目的として、通学の他、観光目的も存在しています。

⑦市民の意識変容による公共交通への積極的な関わりの増加と高齢者の外出機会の確保

- ・釧路都市圏の都市交通マスタープランによると、釧路市の自動車の交通手段分担率は約70%となっており、バスや鉄道等の公共交通の利用は約4%と過度に自動車に依存している状況です。
- ・高齢化率は今後も進行することが予想され、高齢者の社会参加促進のための外出支援が重要です。
- ・バス交通の利用者は年々減少傾向に関わらず、バス交通の維持確保に係る市負担額は増加している状況です。

⑧交通弱者増加を見据えた郊外部における持続可能な生活の足の確保

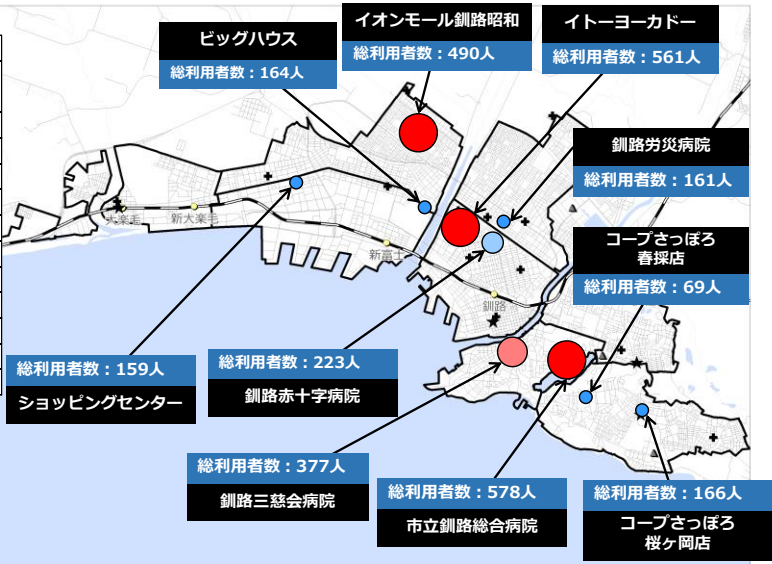
- ・郊外部においては効率的で持続可能な公共交通の確保に向け、需要に応じた柔軟な移動手段の導入を検討することが重要です。

⑨広域的な移動を支える公共交通軸の構築

- ・釧路市は医療等の都市機能が集積し、釧路圏域の中核として重要な役割を担っています。
- ・釧路市への観光客や長期滞在者の増加により、釧路圏域における観光拠点としての役割も拡大しています。

▼施設別バス利用者数

施設名	バス停	乗車	降車	利用者数
ショッピングセンター	星が浦 ショッピングセンター	74	85	159
イオンモール釧路昭和	イオン昭和店	302	186	488
	イオン昭和東口	1	1	2
ビックハウス	鳥取大通2丁目	84	80	164
イトーヨーカドー	新橋大通6丁目	304	257	561
コープさっぽろ春採店	見晴台	25	44	69
コープさっぽろ桜ヶ岡店	桜が岡通	73	93	166
釧路労災病院	労災病院	70	91	161
釧路赤十字病院	日赤病院通	102	116	218
	日赤病院	1	4	5
釧路三慈会病院	釧路三慈会病院	169	208	377
市立釧路総合病院	市立釧路病院	299	279	578



計画の基本方針及び目標

基本理念

交通まちづくりにより、まち・ひと・くらしがつながり誰もが利用したくなる公共交通網の形成

基本方針1 市内拠点を中心とした公共交通軸の活性化と乗換拠点の機能強化による持続可能な公共交通網の形成

- 施策1-1 目指すべき都市構造から適切とされる乗換拠点の機能を強化し、拠点間の連携促進及び運行の効率化を図る

今後の取組
①～④

基本方針2 迷わず乗れる、快適に乗れる公共交通の利用環境整備

- 施策2-1 利用者拡大のため、利便性向上施策や情報提供方法の改善、運賃体系の構築とダイヤの設定を図る
- 施策2-2 交通拠点等におけるバス待合環境を整備する

⑤～⑨
⑩～⑪

基本方針3 公共交通と関わる意識の醸成及び機会の創出

- 施策3-1 みんなで公共交通を守り育てる環境を構築する
- 施策3-2 高齢者の公共交通利用に対する支援

⑫～⑭
⑮

基本方針4 交通不便地域における効率的で利便性の高い生活交通の確保

- 施策4-1 需要に応じた柔軟な移動手段を確保する

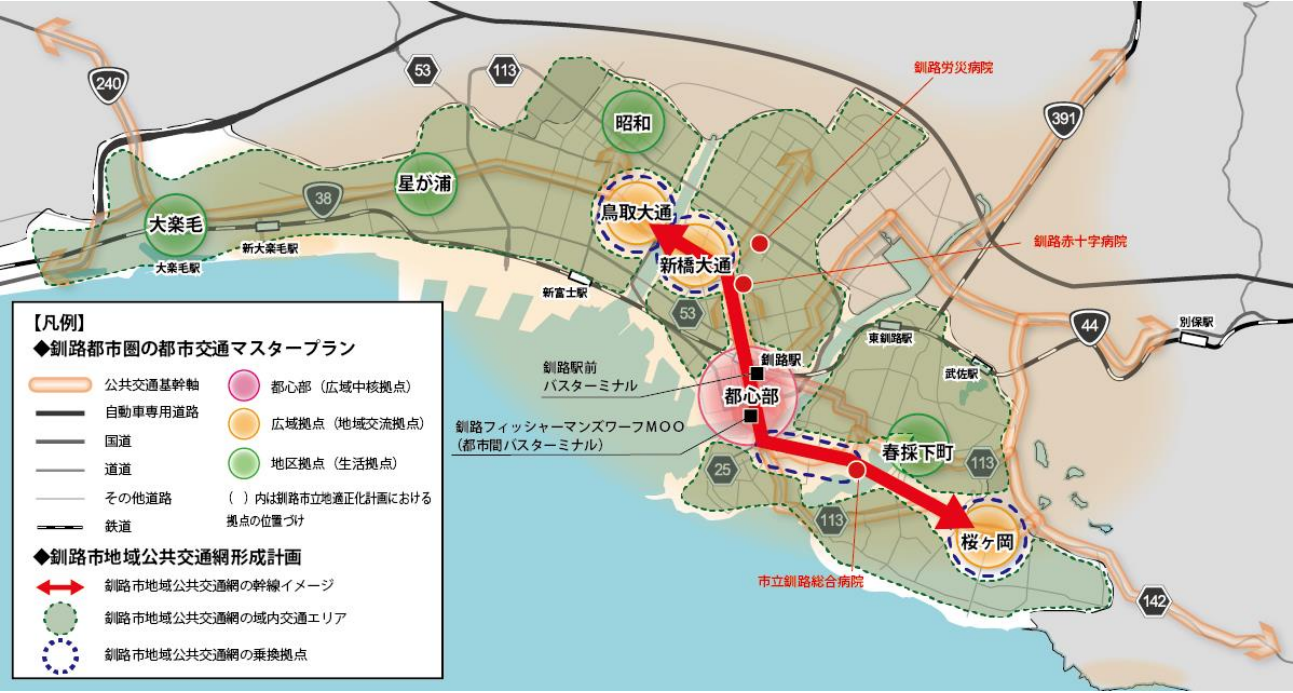
⑯～⑰

基本方針5 釧路圏域の交流・連携を支える広域公共交通軸の確保

- 施策5-1 釧路市の機能を広域的に活かす公共交通の確保

⑱～⑲

▼釧路市街地におけるめざすべき公共交通像



- ※幹線：都心部や広域拠点及び本計画における乗換拠点をつなぎ、利用者ニーズの高いバス路線を幹線として位置づけ、運行を効率化し、域内交通エリアを補完する路線として強化を図ります。
- ※域内交通エリア：住宅街などが多く形成されている地域を域内交通エリアとして位置づけ、乗換拠点から住宅街などへ接続されるバス路線等として維持・充実を図ります。
- ※乗換拠点：バス路線数、運行便数、利用者が多く、かつ幹線に位置する都心部や広域拠点を乗換拠点として位置づけ、バス待合環境の整備などにより幹線と域内交通エリアをつなぐハブとしての機能充実を図ります。

5 計画に位置付ける取組み及び実施主体 ※再編事業：地域公共交通再編実施計画に位置付ける、公共交通ネットワークの再編に係る地域公共交通再編事業

- ① わかりやすく、効率よく拠点間を連絡するバス路線網への再編【再編事業】
- ② 乗換拠点の機能充実【再編事業】
- ③ 市内拠点※等を結ぶ地域や利用者ニーズに応じた効果的なバス運行の実施【再編事業】
- ④ 鉄道との接続を考慮したバス運行の充実

①の取組：幹線を軸としたバス路線網に再編

②の取組：乗換拠点のバス待ち環境の整備

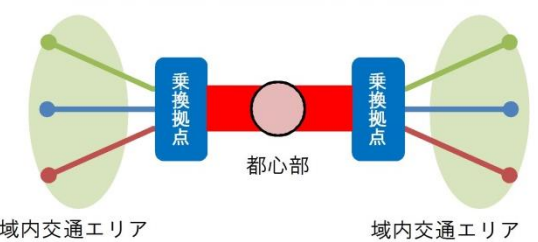
③の取組：市民の主要な目的地へのバス路線の配置を行うとともに、住宅街と乗換拠点をつなぐバス路線の配置（※市内拠点：釧路市立地適正化計画の広域中核拠点及び地域交流拠点及び本計画の乗換拠点）

④の取組：鉄道との接続性を踏まえたバス運行時刻の設定

▼幹線を軸としたバス路線網のイメージ

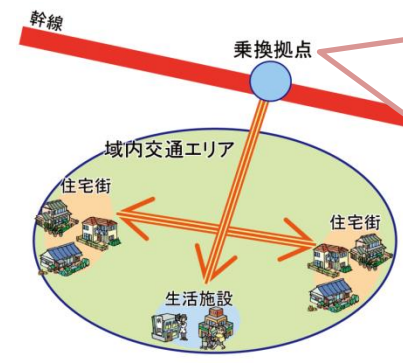
乗換拠点を中心に住宅街等の域内交通エリアを補完するバス路線を設定

幹線の明確化及び、幹線を軸としたバス路線網を再編



▼乗換拠点と域内交通エリアを結ぶバス路線のイメージ

乗換拠点の整備イメージ



- ⑤ 使いやすくわかりやすい運賃体系の構築【再編事業】
- ⑥ 円滑な運賃支払い方法の推進【再編事業】
- ⑦ わかりやすいホームページやバスマップへの更新
- ⑧ 交通拠点※等でのわかりやすい情報案内・誘導の実施【再編事業】
- ⑨ バスロケーションシステムの導入検討

- ⑤の取組：複数路線の利用を前提とした運賃体系や運行ダイヤの導入
- ⑥の取組：市内バス交通の積極的な利用を促す運賃支払い方法の構築
- ⑦の取組：市内バス交通に関する統一的なポータルサイトの立ち上げやわかりやすいバスマップの作成・配布
- ⑧の取組：スムーズな乗換を促すため、釧路駅前バスターミナルなど乗換拠点等におけるわかりやすい乗場案内等の情報提供・誘導の実施（※交通拠点：鉄道及びバス交通の結節点及び本計画の乗換拠点、バス利用の多い施設）
- ⑨の取組：I T 技術を活用したリアルタイムなバス交通の運行情報の提供を実施

▼くしろバス・阿寒バス
路線バス1日フリー乗車券



路線バス 1日フリー乗車券がリニューアル!!
5月1日販売開始!

1枚600円

路線バス車内 または 各本社窓口・釧路駅前バスターミナルで販売しています。

お問い合わせは 阿寒バス株式会社 ☎(0154) 37-2221
くしろバス株式会社 ☎(0154) 36-8181

▼松江市
運賃や所要時間を記載したバスマップ



- ⑩ バスシェルターの整備
- ⑪ 地元商店会等と連携したバス待合環境の整備

- ⑩の取組：利用者の多いバス停に対してバスシェルターの設置やバス交通の運行情報機能を有したバス待合環境の整備を実施
- ⑪の取組：地元商店会等と連携したバス運行情報の掲示やバス待合スペースの整備など、バス待ち環境の改善を実施

▼バスシェルターの設置
（山形県庁前）



▼コンビニにおける
バス待合環境の整備
（横浜市）



▼地元商店会による整備状況
（星が浦大通1丁目）



- ⑫ モビリティ・マネジメント※事業の実施
- ⑬ 地域住民による公共交通のサポート
- ⑭ 主要施設等との連携による公共交通利用のきっかけづくり

- ⑫の取組：モビリティマネジメント（交通に関する情報発信や利用促進策の展開など、バス交通の利用意識の向上に資する取組み）を実施（※モビリティ・マネジメント：車利用に頼る状態から公共交通等の買い利用へと自発的な転換を促す、コミュニケーションを中心とした交通施策）
- ⑬の取組：地域住民が中心となったバス停環境の整備や公共交通のP R・支援等の取組みを実施
- ⑭の取組：地元商店会等と連携したバス運賃の割引制度の導入

▼岩見沢市
大学と連携したバス交通に関するイベントの実施



▼市民団体によるバスの
利用促進パンフレット作成



▼十勝バス
地元商店街と連携した
バス交通利用割引券の発行



- ⑮ 高齢者の移動を支援する公共交通の仕組みづくり

高齢者の積極的な社会参加や自動車からバス交通への移動展開を促すことを目的に、現行の「釧路市高齢者バス等利用助成事業」の見直しも含め、高齢者のバス利用にかかる支援を推進

釧路市地域公共交通計画【概要版】

- ⑯生活交通の導入検討【再編事業】
- ⑰スクールバス、患者輸送バス等の活用検討【再編事業】

- ⑯の取組：公共交通不便地域におけるデマンド型交通※やコミュニティバス等の新たな公共交通の導入（※デマンド型交通：需要応答型の交通により、利用する際の事前予約制とすることで運行の効率化を図る）
- ⑰の取組：スクールバスや患者輸送バス等の空き時間・空席等を有効活用した地域における生活交通の支援を実施

▼阿寒地域におけるめざすべき公共交通像



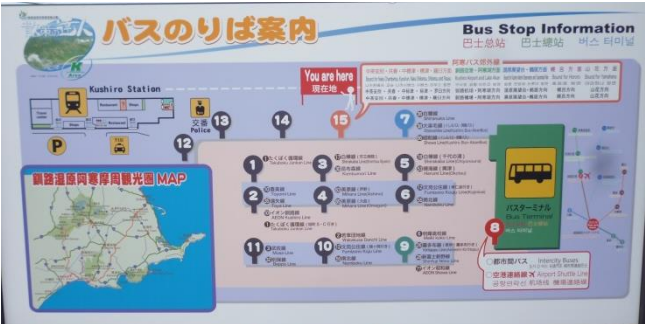
▼音別地域におけるめざすべき公共交通像



- ⑯観光・交流の促進に向けた交通環境の整備
- ⑰広域的な交通手段の確保と連携強化

- ⑯の取組：釧路空港やＪＲ釧路駅等の広域公共交通拠点と、市内観光拠点を結ぶ２次交通の強化や観光を意識したバス運行情報の掲載
- ⑰の取組：周辺自治体と釧路市と結ぶバス路線やＪＲ路線の確保

▼釧路駅前バスターミナルの外国語表記された案内看板



6 計画の進行管理

1. 評価指標の設定

基本方針 1 市内拠点を中心とした公共交通軸の活性化と乗換拠点の機能強化による持続可能な公共交通網の形成

		H28年度	R8年度
評価指標 1	市民1人当たりのバス利用割合	7.3%	8.0%
評価指標 2	現状のバスに対する総合的な満足度	5.9%	15.9%
評価指標 3	バスの利用者数	4,693千人 (H30年度)	4,000千人
評価指標 4	公的資金が投入されているバスの収支率	57.74% (H30年度)	61%
評価指標 5	バスへの公的資金投入額	300,177千円 (H30年度)	259,000千円

基本方針 2 迷わず乗れる、快適に乗れる公共交通の利用環境整備

評価指標 1	市民1人当たりのバス利用割合	7.3%	8.0%
評価指標 2	バスシェルターの設置箇所数	10箇所	15箇所
評価指標 3	バス停の環境に対する満足度	2.3%	12.3%

基本方針 3 公共交通と関わる意識の醸成及び機会の創出

評価指標 1	公共交通に関するイベントの開催回数	1回/年	3回/年
評価指標 2	地域住民と連携したバス停環境の改善件数	-	3件/年

基本方針 4 交通不便地域における効率的で利便性の高い生活交通の確保

評価指標 1	バスの運行経路や行き先に対する満足度	6.1%	16.1%
--------	--------------------	------	-------

基本方針 5 釧路圏域の交流・連携を支える広域公共交通軸の確保

評価指標 1	バス利用者に占める観光目的の割合	2.9%	5.8%
--------	------------------	------	------

2. 取組みの想定スケジュール

今後の取組み		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	今後の取組み		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
基本方針1 市内拠点を中心とした公共交通の活性化と乗換拠点の機能強化による持続可能な公共交通網の形成												施策 交通拠点等におけるバス待合環境を整備する											
①わかりやすく、効率よく拠点間を連絡するバス路線網への再編		検討期間	運行準備・適宜運行									①バスシェルターの整備		検討期間	適宜整備								
②乗換拠点の機能充実		検討期間	適宜整備									②地元商店会と連携したバス待合環境の整備		検討期間	適宜整備								
基本方針2 迷わず乗れる、快適に乗れる公共交通の利用環境整備												基本方針3 公共交通と関わる意識の醸成及び機会の創出											
施策 利用者拡大のため、利便性向上施策や情報提供方法の改善、運賃体系の構築とダイヤの設定を図る												施策 みんなで公共交通を守り育てる環境を構築する											
①使いやすいわかりやすい運賃体系の構築		検討期間	適宜実施									①モビリティ・マネジメント事業の実施		検討期間	適宜実施								
②円滑な運賃支払い方法の推進		検討期間	適宜実施									②地域住民による公共交通のサポート		検討期間	適宜実施								
③わかりやすいホームページやバスマップへの更新		検討期間	適宜実施									③主要施設等との連携による公共交通利用のきっかけづくり		関係機関との調整	適宜実施								
基本方針4 交通不便地域における効率的で利便性の高い生活交通の確保												施策 高齢者の公共交通利用に対する支援											
①生活交通の導入検討		検討期間	適宜実施									①高齢者の移動を支援する公共交通の仕組みづくり		検討期間	適宜実施								
基本方針5 釧路圏域の交流・連携を支える広域公共交通軸の確保												基本方針4 交通不便地域における効率的で利便性の高い生活交通の確保											
施策 釧路市の機能を広域的に活かす公共交通の確保												施策 需要に応じた柔軟な移動手段を確保する											
①観光・交流の促進に向けた交通環境の整備		検討期間	適宜実施									①生活交通の導入検討		検討期間	運行準備・適宜運行								
②広域的な交通手段の確保と連携強化			適宜実施									②スクールバス、患者輸送バス等の活用検討		検討期間	運行準備・適宜運行								